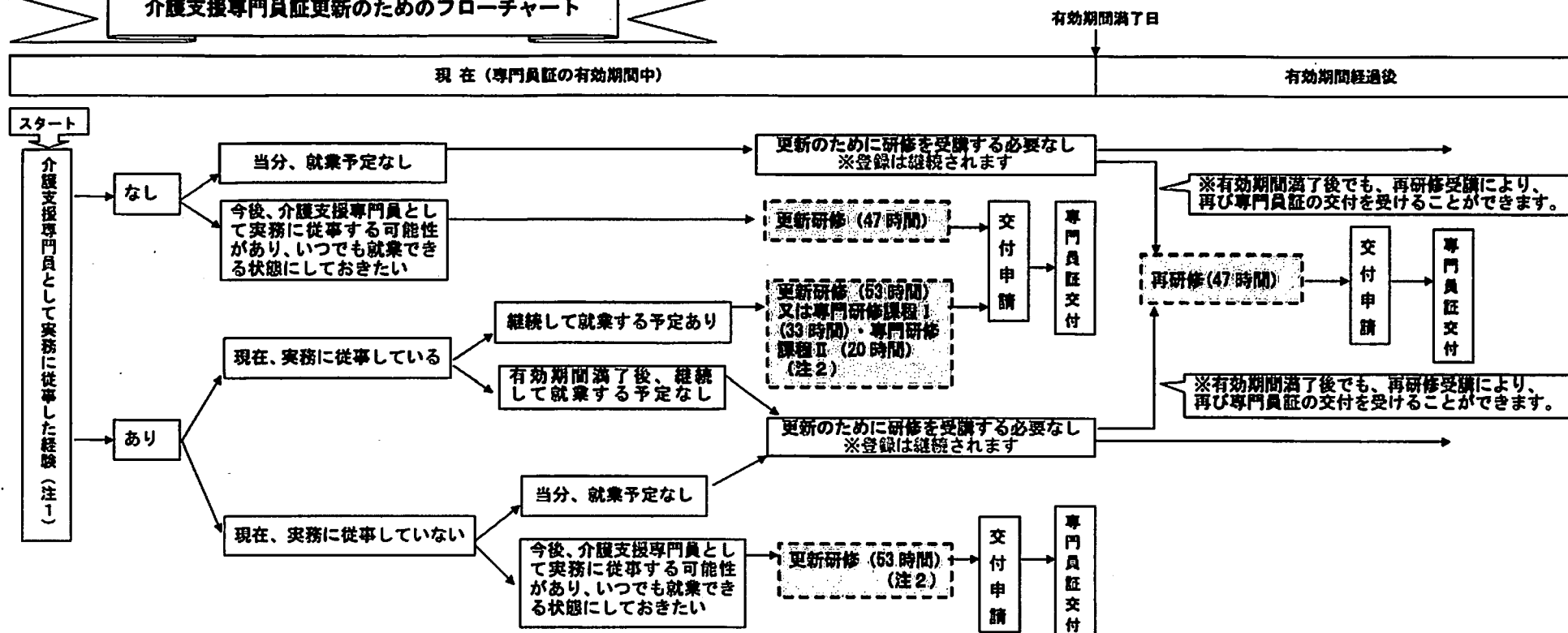


介護支援専門員証更新のためのフローチャート



（注1） 実務に従事した経験とは、原則として有効期間内に、下記のいずれかの事業所において居宅・施設サービス計画（介護予防サービス計画を含む）の作成を行ったことのある者、居宅介護支援事業所の管理者、地域包括支援センターの主任介護支援専門員として従事した者をいう。

地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業所、指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設、認知症対応型共同生活介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所

（注2） 介護支援専門員証の有効期間内に専門研修課程Ⅰ又はⅡを修了した場合は、更新研修から専門研修課程Ⅰ又はⅡに相当する課目を免除する。専門研修課程Ⅰ及びⅡの両課程を修了した者は、更新研修を免除する。介護支援専門員の実務経験者として更新しようとする者が2回目以降の者は、専門研修課程Ⅱ相当科目のみで更新可能

【留意事項】

○介護支援専門員として業務に従事する場合には、専門員証が必要です。

○有効期間満了日までに専門員証の交付を受けない場合は、それ以降、業務に従事することはできませんが、登録は継続されます。

有効期間満了後でも、再研修を修了し、専門員証の交付を受けることにより、業務に従事することが可能となります。

○更新研修の受講は、専門員証有効期限の1年未満の方が対象です。原則として、登録地を受けている都道府県での受講となります。

○登録している氏名や住所に変更があったが、変更の手続きをしていない方は、証の交付の有無に関わらず、「介護支援専門員登録事項変更届出書（様式第3号）」を提出する必要があります。